

2015年に、「マルコポーロ事件」の西岡昌紀氏を大阪に招致をして、「言論の自由と差別問題」シリーズ「マルコポーロ事件から20年」で講演会とお茶会をしていただきました。

その年はちょうど、大阪市で罰則規定なしの穏健な「ヘイトスピーチ規制法」を推進する動きがありましたけど、延期（事実上の廃案）。2016年に可決。

シチズンのマスターも左翼の魂の有る気骨のある方で。「在特会でもお受けする」と公言しています。

2016年11月に、「樺坂のハロウィーンコスプレがナチスの衣装に似ている」とSWCに英語でご注進をする人がいて大騒ぎになりました。この件では人々の間で意見が分かれました。

これを機会に又、西岡氏に依頼をしました。

2017年の今、西岡昌紀氏が今後のためにすごい参考になるかと思えます。西岡氏の過去の壮絶な体験を参考にし、彼の経験と見識を参考になるはず。

歴史の生き証人で、日本でタブー扱いの伝説の言論人です。

「ミステリー講演」と銘打ってはどうか？
「ミステリー・ツアー」って有りますよね。何処に行くかわからないツアーの事ですが、それをもじって、何を話すかわからない講演と言ふ意味で。何を話すのか？ 単独なのか？ それともゲストが来て座談会をするのか？ その時にならないと分からない。

主催でさえも、当日は何が起きるかはわからない。でも主催は、西岡氏を前回の講演会での言動で信頼し全てをお任せしてもいいと思っていますので一切口出しをしませんので。

基本的には西岡氏単独でのご自由にお任せをして。でももし座談会相手が決まればお互いに調整しあいながら語り合ってくださいことにします。そこは柔軟に。

質問コーナーはグダグダになりそうだからしませんけど。質問用紙に書いて、お茶会の時に西岡氏に読んでいただいて、気が向いたらそれについてもお答えいただこうかなと思います。参加者からも事前にリクエストがあれば、それも西岡氏にお渡しをしてお茶会を盛り上げようかと思っています。

大きな一つのテーブルをみんなで囲んで、主賓席に西岡氏と（もし拝聴すべき有能な論客が可能になれば特別ゲストとして彼も一緒に）、お茶会をしながら、気軽に語り合うのも楽しみです。

本当に奇遇ですが、シチズンのマスターも実は西岡昌紀氏の初版本を購入していて、それ以前からガス室論争には詳しい論客です。お茶会でマスターも交えてその話題で盛り上げられるのも楽しみです。

イベントの趣旨や段取りを詳細に述べたのは以下。

<http://fc2.to/4BIPRX>

堅苦しい問題を真面目に語り合うだけじゃなく、気軽に楽しい対話もできそうです。

お茶会とスイーツバーを兼ねたようなものを予定しています。スパークリングワイン、チーズやスイーツ。最後にコーヒーか食後種とミニャルディーズで。

お茶会の段取りを詳細に述べたのは以下。

<http://fc2.to/7afMOQ>



イメージ写真

<https://goo.gl/qTw8sT>

